

PAG-ASA

JFC 奨学金基金報告

パグアサー 夢・希望

2016年9月

2016年JFCネットワークスタディツアー開催



2016年8月5日から10日までJFCネットワーク主催スタディツアーが開催されました。今年も学生の方々はもちろん、社会人の方々にも参加をしていただきたいとの事で日程を少し短めにしました。近年のスタディツアーではダバオでのアクティビティが大半を占めていましたが、今年はマニラでのアクティビティも復活しました。毎年色々な専門分野で活動されている方々にご参加いただいておりますが、今年もこのツアーを通してJFC母子達のフィリピンでの生活状況やフィリピンと日本間で起こっている人身売買問題についてリサーチしたいと考えられている意識の高い方々が参加され、ツアー同行の私もたくさんの学びがありました。

ツアー1日目は、現地集合ということでマニラの空港に集合し、ダバオへ向かいました。

2日目の8月6日は、JFCネットワークと協力しミンダナオ在住JFC母子達への法的支援しているフィリピンNGO Center for Overseas Workersと一緒に、人身売買とJFCとしての権利についてのワークショップを行いました。このワークショップには、たくさんの母子達が参加してくれ、ダバオ市から遠く離れたジェネラルサントス市からも長時間バスに乗って参加してくれました。まず始めに、トヨタ財団からの支援を受け移住者と連帯する全国ネットワークが中心となって行っているプロジェクト「安全な移動プロ



ジェクト」の一環として来日したダバオ在住JFCのヒロミ・タケダさんから、日本滞在中に経験したことや20歳を過ぎても日本人父親へ認知を求めていくことなどをシェアしてくれました。次に、シスターデールから人身売買とは何か、実際に各国で起こっている人身売買被害についてのビデオを全員で観ました。その後、母子達とグループに分かれ、自分達が人身売買の被害に遭わないためどうすべきなのかを一緒に考えました。ダバオ市内には、JFC母子達を来日させ働かせようとする違法エージェンシーがたくさんあります。自分達に関わっているエージェンシーの運営は違法ではないか、労働契約書などの確認や日本での労働状況などの情報が十分に共有されているかなど、人身売買から自分達を守る方法を提案しました。ワークショップの後は、母子達からの出し物があり、JFC達からは合唱やダンスの披露がありました。また、JFC達

MALIGAYA 2016.9

と一緒にツアー参加の皆さんもゲームに参加して交流を深めることができました。この日午後からは各自ホームステイに向かい、母子達と一緒にダバオ観光や夕食をそれぞれに楽しみました。違法エージェンシーを通してまで来日を懇願する母子達のフィリピン生活の現状を見ていただく良い機会になったと思います。3日目は家庭訪問を行い、ホームステイ先に選ばれなかった母子の家も訪問しました。この日はダバオ最終日となり、家庭訪問後は少し早めの夕食となり、Center for Overseas Workers事務所まで食事を準備してもらい、アットホームな夕食とシェアリングを行いました。



4日目はマリガヤハウスの事務所を訪問し、新規相談者へのオリエンテーションに参加していただく予定でしたが、利用した航空会社が大幅に遅れてしまいマニラ到着が夕方になってしまいました。残念ながらオリエンテーションはキャンセルとなりましたが、ツアー参加者の方々にはJFCネットワーク奨学生達と夜遅く短い時間ではありましたが、母親達が作ってくれたスパゲッティとプライドチキンを食べながら交流してもらうことができました。

最終日は、エージェンシーや雇用者に不当に働かされたり暴力を受けたため彼らを相手取って裁判を起こしているフィリピン人海外出稼ぎ労働者達のために、パサイ市で一時的なシェルターを提供しているフィリピンNGO団体Spirit of Home Scalabrini Inc. (SOHO)を訪問しました。事務局長であるマリカー・アウグスティンさんから団体の説明を受け、フィリピン人海外出稼ぎ労働者に起こっている人身売買問題についてシェアしてもらいました。また、マリカーさん自身もシンガポールに出稼ぎに行き、雇用者から無休で2年以上働かされ、携帯電話も持たせてもらえず外部との連絡も取れなかったという経験があります。彼女のこれまでの支援活動の話を聞きながら、フィリピンの海外出稼ぎ雇用システムや法的措置について学びました。この日の午後は、JFC母子達の経済的自立を支援しているフィリピンNGO団体Lampara Houseを訪問しました。この団体はフィリピンの伝統的な布や織物を使ってバッグや洋服などを作って国内外のバザーで売って収入を得ています。ツアー参加の皆さんも母親達が作成したバッグなどを購入し、彼女達の収入に協力していただきました。

ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました！航空会社の遅れで楽しみにしていたマリガヤハウスのオリエンテーションや母子達との交流が十分にできなかったことを反省しております。この経験を活かし来年はより良いタイムスケジュールを考えます。今年ご参加されなかった方もぜひ来年のツアー、ぜひご参加ください！

